

# 消防署大和出張所に 新型救急車を配備



▲高度な医療行為を行える資機材を備えた高規格救急車

市は、消防署大和出張所に新型の高規格救急車を配備し、先月15日に消防本部で就役式を行いました。

高規格救急車は、高度な医療行為が行える資機材を積載した救急車です。新車両には、血糖値測定器や呼吸のない患者へ空気の通り道を確保する資機材など、最新の医療機器を積載しています。

救急車には救急救命士の資格を持った隊員が同乗し、救急現場や搬送中の車内で、患者へ救命処置を施しています。近年、法改正により救急救命士が施せる医療行為の範囲が拡大され、それに併せて救急車にも高度な設備が求められています。

現在、市消防署には高規格救急車8台を配備し、救急救命士の資格を持つ

た署員も41人います。救急車の出動件数は年間約5千件で、救急救命活動により多くの命が救われています。

市消防では、1人でも多くの命を救うため、救急技術の向上に努めています。

## 消防本部警防課

☎0848・64・5924

# 市政懇談会で 重点施策を説明



▲地区代表者からの質問に答える天満祥典市長

市は2月中旬から下旬にかけて、旧三原・本郷・久井・大和地域の市内4カ所で市政懇談会を開催しました。

懇談会では、市の重点施策として観光振興を目的とした瀬戸内三原 築城450年事業、人口の現状分析から活性化のための施策をまとめた人口ビジョン・総合戦略、市役所新庁舎の建設計

画の3事業を説明しました。

その後、出席した地区の代表者からの質問を受け、少子高齢化や農作物へのイノシシ被害、空き家問題といった地域課題について意見交換しました。天満祥典市長は「住民と連携し、課題を解決したい」と答えました。

懇親会でいただいた意見や要望は今後のまちづくりになかしていきます。

## 総務広報課

☎0848・67・6007

# しまなみ信金と 地方創生で提携

市は先月3日、しまなみ信用金庫と地方創生にかかる施策や事業で協力する包括提携を結びました。

市と同信金がそれぞれの情報や経験



▲握手するしまなみ信金の出雲 智理事長(左)と天満市長

## 包括提携第1弾 健康をサポートする定期積金を発売

市としまなみ信金、指定管理者が連携し、市民の皆さんの健康づくりを応援する金融商品を発売しました。  
商品名 ファミリーサポート定期積金「あんしん(安診)」  
内容 毎月積み立てを行う商品で、次の特典があります  
①24時間電話健康相談サービスが利用可能  
②健康診断などを受診すれば、抽選で国内テーマパークのペアチケット

トが当たる  
③リージョンプラザの温水プールかトレーニング室の1回無料利用券、または北方グラウンド・ゴルフ場の半日無料利用券付き  
※②③は市内在住・在勤の人が対象。上限額に達し次第、販売を終了します。  
問い合わせ先 しまなみ信用金庫 (☎0848・62・7113)



を生かし、産業振興や中小企業の支援、地域活性化、子育て・学校教育活動の支援などの分野で連携、平成31年度までの5カ年で協力して事業を実施します。  
同信金の出雲 智理事長は「地域密着型の金融機関という強みを生かし、地方創生に協力したい」と話しました。

経営企画課  
☎0848・67・6270